

## 小島敏郎教授のご退任にあたって

国際政治経済学部長 内田達也

小島敏郎先生は2009年に本学部国際政治学科に教授として就任され、その後8年間研究・教育にご尽力いただきました。ご退職に際し、学部長として、本学でのお勤めに対して感謝の気持ちを込めて、御礼申し上げます。

小島先生は、本学にいらして頂く前は環境省にご在籍し、日本の環境政策に深く関わっていらっしゃいました。特に80年代以降、国際化、グローバル化が進展する中で、国連アジア太平洋経済社会委員会に派遣されたり、京都議定書やヨハネスブルグ・サミット(持続可能な開発に関する世界首脳会議)の批准のためにご尽力されたりと、そのご活躍は日本を超えてまさしく地球規模でありました。環境問題を一国の問題としてではなく、地球全体の問題、グローバルガバナンスの問題として実際に取り組まれたパイオニア、第一人者として、本学部にお招きいたしました。

授業では、先生は常に学生に考えさせることを意図していたようで、ゼミナールでは「勉強は自分でできるから、ゼミではモノの考え方を教える」と仰っていたようです。また、教室に閉じこもる学びではなく、社会人の方々に多く接する機会を設けたり、フィールドワークに出かけたりと、学生の視野を広げ、観察から学ぶことにも関心を払っておいででした。さかなクンや原田真二氏を招いての最終講義では、先生の人脈の広さを改めて知らされました。

小島先生は、長く行政に関わっておられましたので、その見地からのご発言は、教授会で我々に多くの気づきを与えてくれました。また、学部が正しいことを行うこと、説明責任を果たすこと、公明正大である事を常に求めていらしたと思います。教授会を取り仕切る身としては、先生は恐い存在でしたが、学

部のあるべき姿をいつも考えさせられ、身を正す機会を与えてくださいました。

2016年からは、小池都知事に乞われ、東京都の顧問、築地市場の豊洲移転に関する調査を行う「市場問題プロジェクトチーム」の座長としても、その力を発揮されています。今後ともますますご活躍なされることをご祈念し、御礼を申し上げますとともに、これからも青山学院大学国際政治経済学部を見守ってくださいますよう、お願いいたします。